

全国各地で豪雨、地震、台風による被害が発生しました。県生協連は自然災害等緊急時に備え、行政や諸団体との連携を継続的に進めています。

また、東日本大震災被災地への継続した支援活動も行っています。



## >>行政の総合防災訓練への参加

静岡市・静岡県合同総合防災訓練に参加しました（2018/9/1）。静岡市からの要請を受け、全国生協連携災害対応計画（全国生協 BCP）で静岡県内の中核店舗候補のユーコープ千代田店で飲料、菓子パン、バナナを手配し、「ツインメッセ静岡・北館」にお届けし、実際の場面を想定した人や食料品の動きを体験することができました。



集積所への物資搬入の様子

## >>災害ボランティア図上訓練への参加

今年で14回目となる「静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」が常葉大学草薙キャンパス（静岡市清水区）で開催され、静岡県および各市町の行政、社会福祉協議会、災害ボランティア団体、県外の災害ボランティア団体など約350名が参加しました。

（2019/2/23～24）。静岡県生協連は、県内全域を活動エリアとする団体としてこの訓練に参加しています。



図上訓練の様子

## >>日常の備え—毎月の通信訓練実施—

災害等緊急時の県生協連と会員生協との連絡手段のひとつとして、MCA 無線機による通信訓練をユーコープ、パルシステム静岡、生活クラブ、スズキ生協、静岡県労済生協との間で毎月実施しています。また、日本生協連（中央地連）との MCA 通信訓練も隔月で行っています。

## >>西日本豪雨災害時のおかやまコープの取り組みを学びました（2019/3/20）

静岡県委託事業として「災害等緊急時の対策本部の対応」をテーマに、おかやまコープ常勤理事・西山修司氏をお招きし、2018年7月に発生した豪雨災害時の対応についてお話しいただきました。講演を受けて各生協の災害等緊急時の初動対応についてグループ交流を行いました。



講師の西山修司氏(おかやまコープ)

## >>東日本大震災の被災地にみかんを贈りました（2018/12/19）

東日本大震災の被災地である岩手県の仮設住宅でお過ごしの方に「静岡のみかん」を寄贈しました。

みかんは静岡県ボランティア協会を通じ、岩手県の皆さんにお届けしました。



お届けした静岡のみかん



県生協連は、県内の原水爆被害者の皆さんとともに、無差別・大量破壊兵器である核兵器の廃絶を求める活動や、第五福竜丸のビキニ被災事件の地元として、ビキニ事件を語り伝える活動を行っています。



## >>ヒロシマ・ナガサキ平和の旅（広島 8/5～7、長崎 8/7～9、アフター交流会 9/1）

ヒロシマの旅に組合員と家族 8 名、ナガサキの旅に組合員と家族 4 名が参加しました。

ヒロシマの旅は、リニューアルした広島平和記念資料館（東館）の見学、広島市主催平和記念式典、ヒロシマ虹のひろばなどに参加しました。ナガサキの旅では、長崎原爆資料館の見学、ナガサキ虹のひろば、長崎市主催平和祈念式典に参加しました。またアフター交流会に組合員と家族 6 名が参加し、ヒロシマの旅、ナガサキの旅の様子を報告し交流しました。



原爆ドーム前（広島）

## >>3・1 ビキニ事件を伝え核兵器廃絶を求める取り組み

人類最初の水爆実験の犠牲者である第五福竜丸無線長・久保山愛吉さんをしるべ核兵器廃絶を求める取り組みとして、原水爆禁止静岡県平和行進（5月）、9・23焼津行動（9/23）、3・1 ビキニデー集会（3/1）を静岡県原水爆被害者の会などの諸団体とともに開催しました。



3・1 ビキニデー・墓参行進の様子

## 2018 年度の取り組み フードバンク活動

県生協連は、認定 NPO 法人フードバンクふじのくにの構成団体として運営に参画しています。

ユーコープでは、県下一斉フードドライブ（8月・1月）に全 17 店舗でフードドライブに取り組んだほか、宅配事業の物流在庫を継続的に寄贈しています。また、組合員からの返品商品で寄贈できるものも寄贈し、年間合計では 4,783kg を寄贈しました。

パルシステム静岡では家庭用災害備蓄品の買い替え時などにフードドライブに取り組み 79kg を寄贈しました。



フードドライブの様子  
(ユーコープ城北店)

## 2018 年度の取り組み 食と健康

### >>食と健康企画「タニタの健康セミナー&食と健康トーク」を行いました(2018/12/22)

広く県民を対象に、誰もが関心ある「食と健康」をテーマにした企画を開催しました。前半はタニタヘルスリンクの管理栄養士による講演を聴き、後半は“行動変容”をキーワードにテーブルごと「食と健康」をテーマに交流し、「今日からできる改善行動」を各自書き出しました。

参加者の募集にあたっては、県や静岡市の公共施設、大学・専門学校等にもチラシを置かせていただいた結果、生協の組合員でない方の参加が全体の約 3 割ありました。



講師の竹下温子静岡大学准教授



≫静岡県くらし・環境部県民生活課との連絡会（2018/7/27）

県行政との協力・連携をすすめることを目的に、毎年「県民生活課・静岡県生協連絡会」を開催しています。県民生活課からは、静岡県の消費者行政の推進、若者向け情報提供サイトについて、第3次消費者行政推進基本計画について報告がされました。県生協連と各会員生協の取り組み報告の後、見守り体制の強化のための県と市町との連携について、若者向けサイトについて、県の消費者行政や消費者教育推進の担い手について意見交換を行いました。



連絡会の様子

≫行政の各種審議会等への参画、意見書の提出

静岡県消費生活審議会、静岡県水産振興審議会、新たな静岡茶の振興策検討委員会、静岡県食と農が支える豊かな暮らしづくり審議会などの委員を務めました。また、「静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度（案）」に関する意見を提出しました。

2018 年度の取り組み 諸団体とのネットワーク

≫農林水産業の協同組合との協同・連携



生産者団体（静岡県農業協同組合中央会・静岡県信用農業協同組合連合会・静岡県経済農業協同組合連合会・静岡県漁業協同組合連合会・静岡県森林組合連合会）と協同・連携



内浦漁協のいけす見学

して、富士山麓育林活動（2018/7/21）、協同組合学習交流会（2018/10/4）、安倍川流木クリーンまつり（2018/11/18）、女性交流集会（2018/12/5 沼津市・函南町）などを実施しました。女性交流集会では、内浦漁業協同組合、JA 三島・函南、ユーコープ新沢田店の見学を行い、県東部地域の生産者と消費者が交流する場となりました。

## >>労働者福祉事業団体との協同・連携

一般社団法人

静岡県労働者  
福祉協議会の

構成団体として、他の事業団体とともにALWF ゼミ講座\*への参加、ALWF 自主研究課題「静岡県下事業所における働き方改革（女性活躍推進を含む）の実態と課題」研究会委員の派遣、生活底上げ・共助拡大キャンペーンの協賛などを行いました。

\* ALWF=公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会

(Association of Laborers' Welfare Fund of Shizuoka Prefecture)



ALWF ゼミ・マネジャーコースの様子

## >>消費者問題ネットワークしずおかとの連携

県生協連は消費者問題ネットワークしずおかの事務局団体として運営に参画しています。昨年に続き「平成30年度消費生活相談員資格取得支援講座実施運営業務（静岡県委託事業）」を実施しました。独自にテキストを作成したことに加え、新たに復習テストを行うなど試験対策を強化し、10名の受講者が合格しました（合格率35.7%）。

また、静岡市消費生活展（2018/12/8-9）に出展しました。青葉イベント広場を往来する方々に契約に関する「消費者クイズ」を出題し、契約についての正しい知識をお知らせしました。

